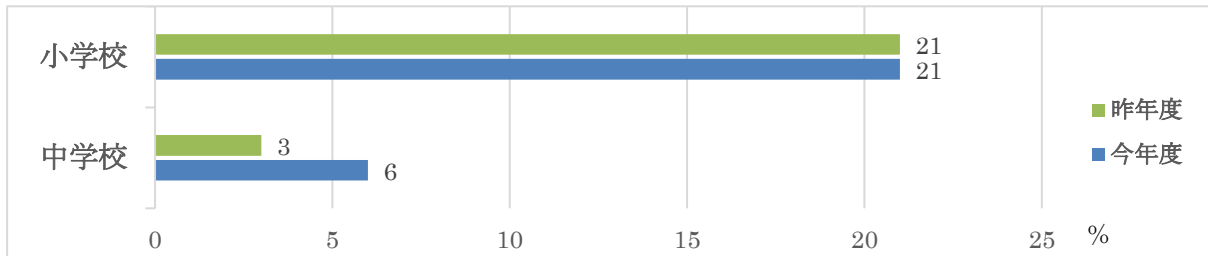


令和3年度 「第2回 いじめの把握のためのアンケート調査（11月末）」

～ 七飯町内各校の報告数の集約概要 ～

1 「4月から今日まで、嫌な思いをしたことがあるか。」（回答児童：1324名、回答生徒：629名）

「ある」 小学校・・・今年度 282件（21%） 昨年度 286件（21%）
 中学校・・・今年度 38件（6%） 昨年度 21件（3%）

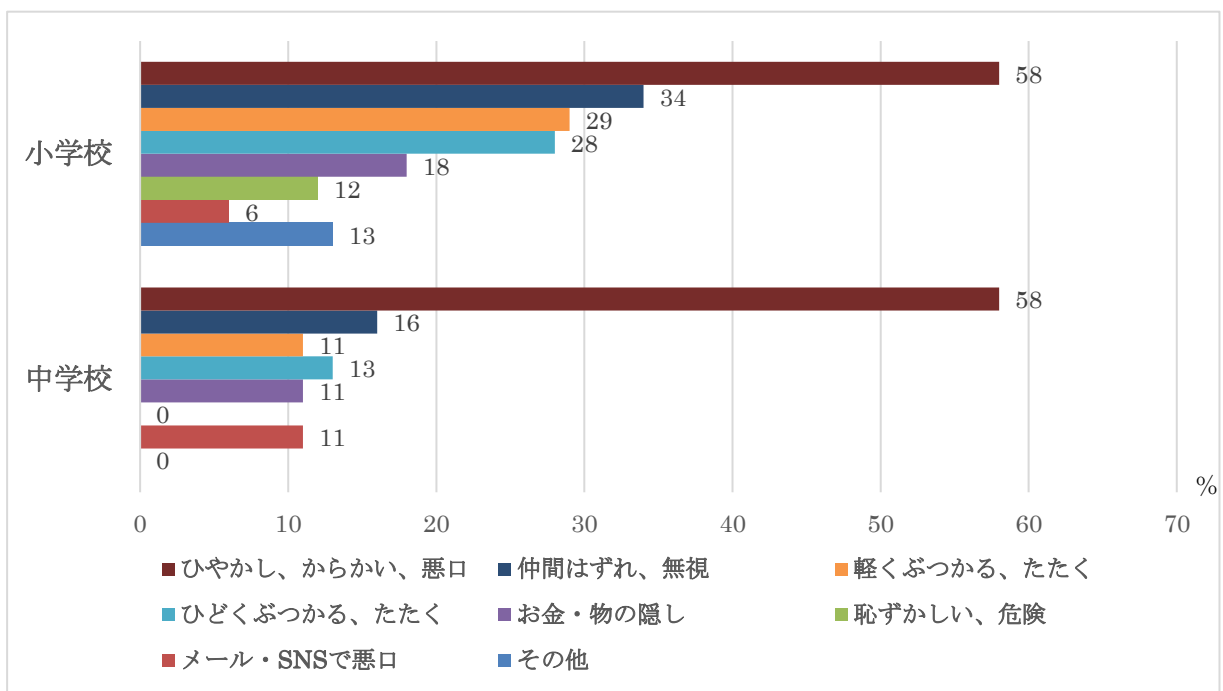


＜考察＞ 昨年度と比較しても小学校・中学校共に大きな変化は見られないが、今後も継続した気配り・目配りが強く望まれる。一方、家庭や関係機関と連携した学校の指導や対応で、重大事態には至っていない状況にある。

2 1で「ある」の場合、「どんなことをされたか。」

（回答児童：282名、回答生徒：38名）

| | ＜小学校＞ | ＜中学校＞ |
|------------------------------|------------|-----------|
| ア、冷やかしからかい、悪口を言われる | 58% (163人) | 58% (22人) |
| イ、仲間はずれ、無視される | 34% (96人) | 16% (6人) |
| ウ、軽くぶつかる、遊んだふりで叩かれる | 29% (81人) | 11% (4人) |
| エ、ひどくぶつかる、叩かれる、蹴られる | 28% (79人) | 13% (5人) |
| オ、お金や物を隠される、いたずらされる | 18% (50人) | 11% (4人) |
| カ、恥ずかしいこと、危険なことをされる | 12% (33人) | 0% (0人) |
| キ、メールやSNS等で悪口を書かれたり仲間はずれにされる | 6% (17人) | 11% (4人) |
| ク、その他 | 13% (38人) | 0% (0人) |

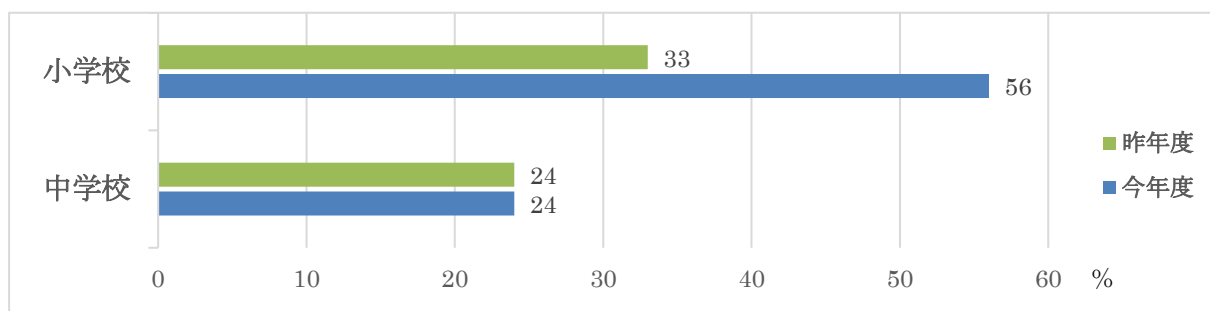


＜考察＞ 「冷やかし、からかい、悪口」や「仲間はずれ、無視」で嫌な思いをしている子どもは例年同様、小中ともに依然多いが、小学校では「冷やかし、からかい、悪口」「ひどくぶつかる・叩く・蹴る」「お金や物を隠す、いたずらする」がおのおの11ポイント昨年度より増加している。中学校でも「ひどくぶつかる・叩く・蹴る」は13ポイント増加（昨年度は0%）しているが、「恥ずかしいこと・危険なこと」は前年度の19%から0%と激減している。また、「メールやSNSでの悪口・仲間はずれ」は小学校で4ポイント増加（2%→6%）、中学校で11ポイント増加（0%→11%）しているのが気にかかる。

3 1で「ある」の場合、「今も嫌な思いをしている。」（回答児童：282名、回答生徒：38名）

小学校・・・今年度159件（56%未解決） 昨年度95件（33%未解決）

中学校・・・今年度9件（24%未解決） 昨年度5件（24%未解決）



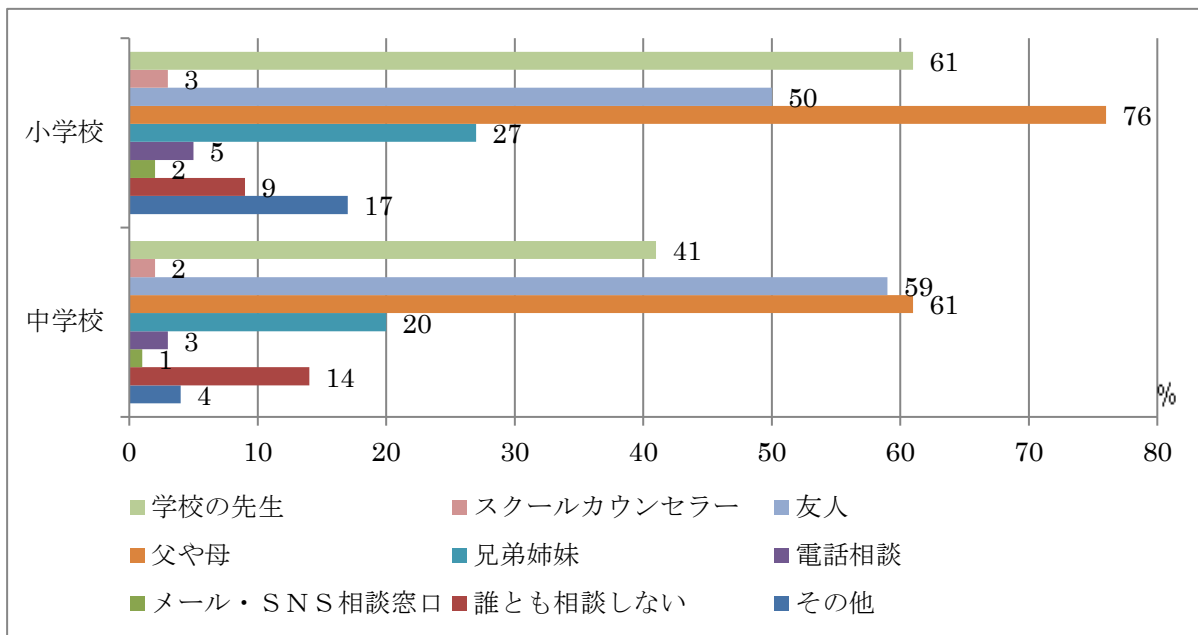
＜考察＞ 昨年度と比較すると、小学校では「今も嫌な思いをしている子ども」は大幅に増加（33%→56%）している。また、6割弱の子ども達は依然「嫌な思い」が解消されていないため、子どもの声に耳を傾け、早急に対応する必要がある。

4 「嫌な思いをした時には、誰に相談するか。」（回答児童：1324名、回答生徒：629名）

＜小学校＞ ＜中学校＞

| | | |
|----------------|---------|---------|
| ア、学校の先生 | 61(57)% | 41(39)% |
| イ、スクールカウンセラー | 3(1)% | 2(2)% |
| ウ、友人 | 50(45)% | 59(63)% |
| エ、父や母 | 76(76)% | 61(56)% |
| オ、兄弟姉妹 | 27(24)% | 20(20)% |
| カ、電話相談 | 5(4)% | 3(4)% |
| キ、メールやSNSの相談窓口 | 2(1)% | 1(2)% |
| ク、誰とも相談しない | 9(9)% | 14(14)% |
| ケ、その他 | 17(5)% | 4(2)% |

※()内数字は昨年度

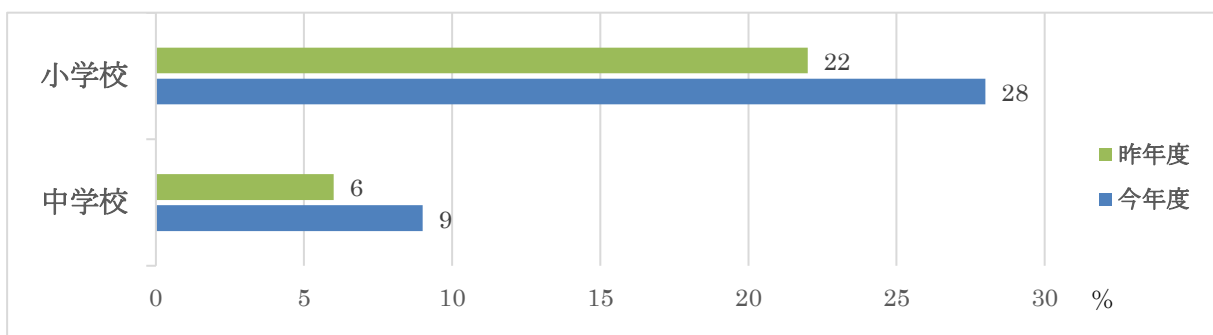


＜考察＞ 相談相手は小学校が「父母→先生→友人」、中学校が「父母→友人→先生」の順となっている。小学校の割合・順位は昨年度と大差ないが、中学校においては僅差ではあるが「父母」と「友人」が逆転している。また、「誰にも相談しない」子どもが小学校では9%（昨年度9%、一昨年度10%）、中学校では14%（昨年度・一昨年度も14%）と小中学校ともに横ばい傾向が見られる。「その他」では相談相手として概ね祖父母をあげているが、昨年度に比べると小学校で12ポイント（5%→17%）、中学校で2ポイント（2%→4%）増加している。

5 「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある。」

（回答児童：1324名、回答生徒：629名）

小学校今年度 369 件（28%） 昨年度 287 件（22%）
 中学校今年度 56 件（9%） 昨年度 39 件（6%）

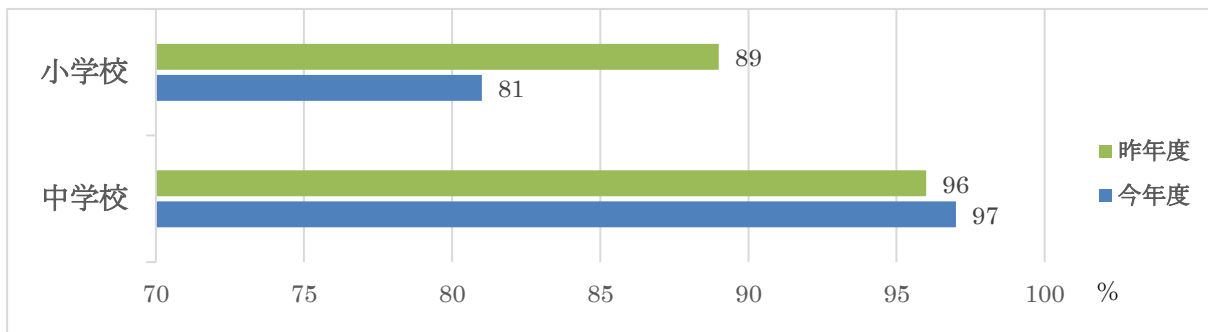


＜考察＞ 「嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりした」割合は、小学校・中学校共に設問1とほぼ同じか、若干上回る数字となっている。従って、設問1の数値は概ね現状を把握しているものと思われる。

6 「子ども相談支援センター電話紹介カードを知っているか。」

(回答児童：1324名、回答生徒：629名)

| | | | |
|------------|-------|-------------------|-----------------|
| <小学校> | 知っている | ・・今年度 1076人 (81%) | 昨年度 1184人 (89%) |
| <中学校> | 知っている | ・・今年度 608人 (97%) | 昨年度 610人 (96%) |
| ※小学生の学年別内訳 | | | |
| | | 1年 63% | 2年 65% |
| | | 3年 89% | 4年 87% |
| | | 5年 90% | 6年 91% |



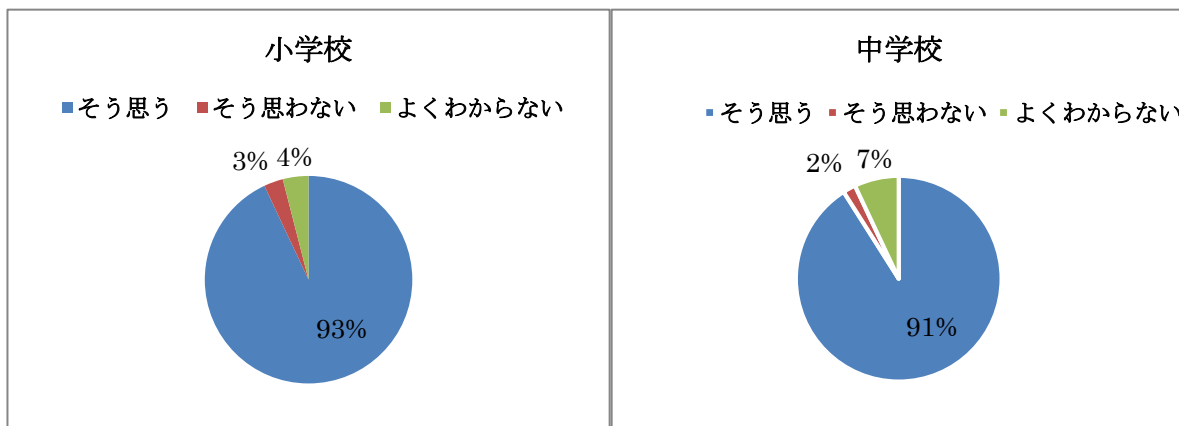
<考察> 昨年度と比較すると、「子ども相談支援センター電話紹介カード」の周知は中学校では十分であるが、小学校では若干減少している。小学校で「知らない」と答えた19%の児童のうち、約65%は1・2年生が占めている。

7 「いじめはどんなことがあっても許されないことだと思うか。」

(回答児童：1324名、回答生徒：629名)

| | | |
|-----------|---------|---------|
| | <小学校> | <中学校> |
| ア、そう思う | 93(94)% | 91(84)% |
| イ、そう思わない | 3(2)% | 2(4)% |
| ウ、よくわからない | 4(4)% | 7(12)% |

※()内数字は昨年度



<考察> 昨年度と比較すると、中学校では「そう思わない」が2ポイント(4%→2%)、「わからない」が5ポイント(12%→7%)減少し、「そう思う」が7ポイント増加(84%→91%)するなど、ほとんどの児童生徒はほぼ正常な認識を有していると思われる。